

2016年 3月 15日
東京電力新潟本社
代表 木村光一 様

柏崎刈羽原発に関する東京電力のCM等広報活動に対する抗議・申し入れ

現在、貴社は柏崎刈羽原発に関するCMや広告を新潟県内限定で発信しています。新潟日報1面を使ったCM、民放テレビ4局各40秒2回/日、ラジオ3局各30秒2回、雑誌では複数の月刊誌に掲載していると聞いています。

これらCMや広告・展示の内容は、主に「福島原発事故の教訓を活かした柏崎刈羽原発の安全対策」「(一定量以下の)放射能の安全性」などを強調するものとなっています。また、その具体的な中身も、原発再稼働に向けて貴社にとって都合のいい情報のみを打ち出す一面的なものとなっています。昨年12月に一時的に新潟市で開設された貴社の説明ブースでも、同様の内容のパネルや映像が展示されています。

そもそも貴社は、福島原発での汚染水問題とその実態の隠蔽、柏崎刈羽原発での度重なるトラブル隠しや構内の火災、最近の不適切なケーブル敷設問題に加え、原発事故直後にメルトダウンを確認できたはずのマニュアルの存在が事故後5年を経て今頃明らかになったことなど、これまでのあまりに杜撰な管理体制には大きな問題があり、企業の体質や実態はCMや広告で強調する姿と大きく乖離しています。

福島原発事故前にも根拠の無い「安全性」を強調し続け、その帰結が同事故であったにもかかわらず、今になって「福島原発事故を教訓にした安全対策」をいくら強調したとしても、何ら合理的な根拠とはならず、到底信用はできません。

福島から本県に避難されている多くの方々は、先行きの見通しの立たない、困難で深刻な生活を余儀なくされています。また、貴社の福島原発事故の損害賠償費のための費用を交付している「原子力損害賠償・廃炉等支援機構」の資金は、公債の発行を通して、結果的に国民が肩代わりしている形になっています。避難者・被災者だけでなく、国民全体に多大な負担を強いながら、その自覚と責任が欠如したまま、自分に都合のいい情報だけを喧伝し、実態とかけ離れたCMや広告に多額の費用を費していることに、私たちはきわめて強い憤りを感じます。

避難者の方々の中には、これらCMを見るたび聞かたびに「再び傷つけられていると感じる」と言う方もおられます。貴社の収入の多くを占める関東管内の電力消費者からも、電力料金がこのような形で使われることに強い反発の声があがっています。

私たちは、貴社の不誠実な姿勢に強く抗議するとともに、以下、真摯な回答と対応を求めます。

1. 新潟県内で柏崎刈羽原発の安全対策に関連して発信されているCMおよび広告に充てられている経費を明らかにすること。
2. このような無駄で不適切なCMや広告をただちにとりやめ、避難者・被災者、貴社管内電力消費者に謝罪し、避難者・被災者への生活支援など、その費用を適切な使い道に充てること。
3. 上記「2」が実現されるまで、少なくともCMや広告の内容をあらため、貴社が繰り返してきた不祥事や不適切な対応など、実態に添った内容と反省を反映した内容とすること。

申し入れ個人・団体(順不同)

【個人】

磯貝潤子(原発事故自主避難者)・大賀あや子(福島県大熊町から阿賀野市に避難)・高橋真由美(原発事故により自主避難)・高島詠子(原発事故自主避難者)・菅野正志(原発事故自主避難者)・浅田正文(福島県自然保護協会会員)・舞木智美(福島県郡山市からの避難者)・吉田優生(福島県田村市から長野県へ避難)・宇野朗子(福島市から京都府へ避難)・坂本建(福島県富岡町から神奈川県へ避難)・鈴木絹江(福島県田村市から京都市へ避難、原発知らない福島 の女たち)・地脇美和(福島県白河市から北海道に避難)・武藤類子(福島県民)・中山均(新潟県新潟市議会議員)・矢部忠夫(新潟県柏崎市議会議員)・高野義雄(弁護士)・水内基成(弁護士)・近藤正道(弁護士新潟県新潟市)・斎藤裕(弁護士)・松永仁(弁護士)・橋本桂子(主婦)・立石雅昭(新潟大学名誉教授)・勝良剛詞(大学教員・講師)・石附幸子(新潟県新潟市議会議員)・青木学(新潟県新潟市議会議員)・吉澤文寿(新潟国際情報大学教授)・本田桂 寿美(新潟県南魚沼市在住)・中村哲也(元・新潟大学教授)・平あや子(新潟市議会議員)・石山謙一郎(新潟市在住)・横山由美子(新潟YWCA)・中村 進(新潟県新潟市西蒲区)・朝倉奏(僧侶)・笠原美紀子(I女性会議新潟県本部代表)・高桑千恵(新潟県刈羽村在住)・鈴木利枝(新潟県新潟市・医療関係者)・小木曾茂子(新潟県中魚沼郡津南町在住)・佐藤和良(前・福島県いわき市議会議員)・蛇石郁子(福島県郡山市議会議員)・伊藤良徳(弁護士・東京都 在住)・伴英幸(原子力情報資料室)・山口幸夫(原子力情報資料室川静子(東京都府中市在住)・星川まり(東京都府中市在住)・福士敬子(前・東京都議会議員)・柳田真(たんぽぽ舎)・松谷清(静岡市議会議員)・大野博美(千葉県佐倉市議会議員)・五十嵐智美(千葉県佐倉市議会議員)・伊藤とし子(千葉県 佐倉市議)・丸尾牧(兵庫県議会議員)・会津素子(千葉県成田市議会議員)・矢澤江美子(埼玉県八潮市議)・中村まさ子(江東区議会議員)・井奥まさき(兵庫県高砂市議会議員)・橋本久雄(東京都小平市議会議員)・片山かおる(東京都小金井市議会議員)・三宅桂子(千葉県船橋市議会議員)・野村羊子(東京都三鷹市議会議員)・大嶽貴恵(東京都昭島市議会議員)・ふじしろ政夫(千葉県議会議員)・上原公子(元・東京都国立市長)・高橋登(大阪府泉大津市議会議員)・北口ひとみ(茨城県つくば市議会議員)・宇野信子(茨城県つくば市議会議員)・皆川幸枝(茨城県つくば市議会議員)・野口英一郎(鹿児島県鹿児島市議会議員)・山本友子(千葉県議会議員)・入江晶子(千葉県議会議員)・田中紀子(千葉県木更津市議会議員)・大谷順子(千葉県四街道市議会議員)・陣内やすこ(東京都八王子市議会議員)・相沢一正(茨城県東海村議会議員)・大沢ゆたか(東京都立川市議会議員)・大塚恵美子(東京都東村山市議会議員)・八木さとし(前・長野県大町市議会議員)・北野進(石川県珠洲市議会議員)・長谷川俊英(大阪府堺市議会議員)・増田京子(大阪府箕面市議)・羽場 頼三郎(岡山市議会議員)(他ネット署名・紙署名分と併せ、計 1619 名;3 月 15 日現在)

【団体】(※参考のためにそれぞれの活動拠点の地域も記載)

原発からいのちとふるさとを守る県民の会(新潟県)・柏崎刈羽原発反対地元三団体(新潟県)・I女性会議新潟県本部(新潟県)・脱原発を考える新潟市民 フォーラム・すべての原発を廃炉に!!刈羽村生命を守る女性の会(新潟県)・食べものと放射能を考える会(新潟県)・福島原発 30 キロ圏ひとの会(福島県 および避難地)・脱原発の日実行委員会(福島県)・緑ふくしま(福島県)・脱原発とうかい塾(茨城県)・虹とみどりの会(福島県)・福島原発震災情報連絡 センター(全国)・緑の党グリーンズジャパン(全国)(13 団体)